検討会における議題について（メモ）

現行の救急医療体制

三次救急医療機関

- 一層の質の向上
- 受入実績の評価、評価の質の確保
- 救急医等の疲弊
- 不均衡な整備　残る空白地域
- 特に都市部における林立

- 出口の問題　　等

二次救急医療機関

- 需要の増加に追いつかない状況
- 夜間休日の不十分な人員体制
- 夜間休日の診療を担う勤務医の疲弊
- 当直医の専門領域に限定される受入
- 訴訟リスクの増大
- 施設間のばらつき　質の担保が不十分
- 外来軽症患者の増大　　等

初期救急医療機関

- 時間外の診療体制不十分
  （自宅と診療所の分離）
- 検査体制等の確保困難
  （画像検査・血液検査）　　等

新しい評価方法について

（第1回～第3回）

ER方式の現状について

（第4回～）

（高度）救命救急センターの今後の整備について

（第1回～）

出口の問題

（受け皿の確保）
- 高齢者の増大
- 在宅への復帰が困難な社会環境　等

（第4回～）

二次医療機関のあり方について

（第4回～）

厚生労働省医政局指導課

平成20年4月30日